



大谷選手から寄贈されたグローブです

初春、穏やかな日中の一月十三日(土)、油縄子交流センターに於いて、令和六年の賀詞交歓会が開催されました。会場には学区内各学校の先生方、コミュニティ推進会の皆さん約四十名が出席されました。厳粛な中で白玉コミュニティ推進会々長を初めとして、油縄子小、多賀中、特別支援学校の各校長先生および各専門部の部長による新年の挨拶がありました。ドジャース大谷翔平選手から油縄子小に寄贈されたグローブの紹介もありいつもとは違った雰囲気、乾杯の後、歓談に移り、会場は一気に和やかな雰囲気になりました。それぞれのテーブルでは会話が弾み、健康・趣味・知人の近況などの話題で大い



令和6年3月20日
第127号
 発行 油縄子学区コミュニティ推進会
 調査広報部
 TEL (38) 7531
<http://www.net1.jway.net/jp/c-yunago/index.html>



に盛り上がりました。続いて年最初の運試し、幸運を呼ぶ抽選会となり、根本副会長の読み上げる番号に一喜一憂。会場和気あいあいの余韻の内に静かに閉会となりました。さて、時は「自然をたたえ、生き物を慈しむ」春分の候、間もなく桜の開花便りとともに新年度が始まります。油縄子学区の皆様方におかれましては、引き続き地域活動等にご協力の程よろしくお願いいたします。
 (櫻村 均)

油縄子コミュニティ推進会・行事予定(4月~6月)

コミュニティ推進会総会	4月14日(日)	はつらつクラブ	毎月第2・第4月曜日
運営委員会総会	4月21日(日)	おもちゃライブラリー	毎週火曜日(月3回)
油縄子学区連絡委員会	5月17日(金)	油縄子ふれあい茶話会	毎月第2水曜日
町内会・自治会連絡会	6月23日(日)	国分ふれあい茶話会	毎月第4火曜日
ステップクラブ	毎月第1・第3月曜日	シルバーリハビリ体操	毎月第2木曜日

民生委員児童委員の紹介

今年の氏名と担当地区を以下紹介します。

角田 ますみ

鮎川町一丁目

深谷 裕子

鮎川町二丁目

風間 康子

鮎川町三、四丁目

千葉 恵子

鮎川町五丁目一〜十一番

黒澤 由子

鮎川町五丁目十二〜十六番
六丁目六〜九番
(二〜十号除く)

十、十一番
(二〜六号除く)

結城 弥生

鮎川町六丁目一〜三番

益子 ぎよ

鮎川町六丁目四、五番
十二番(一〜六号)
十二〜十七番

木名瀬 紀子

諏訪町一丁目一〜三番
十一〜十三番

鯨岡 邦水

諏訪町一丁目四〜十番

小泉 玲子

桜川町三丁目三〜十一番

黒澤 由美子

多賀町四丁目四〜六番
五丁目四〜十番

白土 由子
国分町一〜三丁目
小林 紀子
主任児童委員

福祉部研修会

令和六年二月二十一日に福祉部の研修会を開催しました。「わかつてあんしん介護保険」のお話を市介護保険課の白木様から詳しく伺いました。要介護認定の申請についてや介護保険を利用して受けられるサービス、入居できる施設などの違いを教えてくださいたいです。心よりの研修会に参加していただき

「心配なことがあるときは、地域包括支援センターや高齢福祉課、介護保険課に遠慮せず相談してください」との言葉をいただきました安心いたしました。皆様の近くにも民生委員児童委員がおりますので、お声を掛けてください。ご家族に不安のある方は、お一人だけで背負わず相談してください。少しでも良い方法が見つかると思います。研修会に参加していただき

た福祉部の皆様には、一年間各事業にご協力いただきありがとうございます。心よりお礼申し上げます。(風間 康子)



風間部長の説明



白木様のお話

防犯防災部研修会

令和六年二月十五日(木)に参加者十三名で、宇都宮市にある栃木県防災館での災害疑似体験を行なってきました。当日は日立を出発して防災館に到着後、最初に館内にある展示コーナーで災害情報の写真パネルと解説。家庭の防災対策コーナーでは家庭での備え、対策を実際の部屋を見て学習。その他に防災グッズの中身、震災対策グッズなどの展示物を見学しました。その後、一時間三〇分の見学体験コースを受講しました。最初に映像シアターで防災、災害対策、更に東日本大震災の状況映像を見て防災の知識を学びました。最後に全員が四つの疑似体験を行いました。

- ①大雨では滝のような豪雨。
 - ②煙迷路は手探りででの脱出。
 - ③地震は震度7の恐怖。④大風では風速三〇m/sの衝撃。
- 全員が有意義な疑似体験をすることができました。習得した知識を地域の防災活動に活用して参ります。

(伊藤 茂)



栃木県防災館の玄関前



大風体験



大雨体験

学校だより

地域の宝を師として

「人財」育成

多賀中学校 校長 菅 原 正 洋

茨城県教育委員会では、「人財」育成という言葉を使っています。人は宝であり、価値を創造できる人を育成していきましようという意味だと捉えています。

ところで、今年度が多賀中学校の教育活動を振り返ってみますと、未来を担う「人財」を育成するために、油繩子学区コミュニティ推進会の皆様をはじめとして、たくさんの方々の地域の方々、つまり、地域の宝に大変お世話になりました。

例をあげると、枚挙にいとまがありません。三世代ゆなご秋まつりでは、吹奏楽部が演奏の機会と温かいご声援をいただくことで、大きく成長することができました。また、ひたち医療センター看護師の方にご来校いただき、仕事の喜びや働くことの意味について貴重なお話を伺うことができました。さらには、セクスイハイムミュージアム茨城での体験学習により、防災意識を高めることができました。

多賀中学校内でも、「学ぶ」「愛」「長持ち」を教師と生徒の合言葉として「人財」育成に努めてまいりました。そしてさらに、地域の宝を師とし、そこからたくさん学びを得られたことに、校長として深く感謝申し上げます。今後ともご指導、ご支援をどうぞよろしくお願いたします。



セクスイハイムのミュージアム体験学習



ひたち医療センター看護師さんの講話



三世代ゆなご秋まつりでの演奏

油繩子学区連絡委員会

令和六年二月十六日に第二回の連絡委員会を開催しました。

最初に、鮎川町交番の二川所長から鮎川交番内における自転車の盗難件数が二十二件発生している等のお話がありました。又、交番として、六十五歳以上の高齢者宅の巡回訪問も実施しています。

保育園・各学校からは、令和六年度の主な行事の説明をしていただきました。

保育園からは、保育参観に力を入れていくことや、地域との交流を再開していきたいとお話がありました。



白土会長挨拶



二川鮎川交番所長の現況の御報告



各校の御報告と予定

小学校からは、今年四月で創立七十周年になるとの報告がありました。中学校からは、市の総体がなくなり、県北大会・県大会だけの開催となることとです。

特別支援学校からは、入学式を小学校や中学校と重ならないように四月十日に実施することとです。

高校からは、入学試験の日程変更により、卒業式が三月六日になり、又、十月中旬には松苑祭を行う予定のこととです。

これからも連絡委員会での情報交換を行い、地域と学校が協力をしながら、ますます住みやすい街にしていきたいと考えております。

(照井 修)

油繩子歴史散歩

嶋崎 敏

その八 油繩子の商業

油繩子の集落は、上町、中町、下町(上宿、中宿、下宿とも云った)と下原から構成され、夫々の家は生業(なまわ)による屋号などで呼び合った。

米問屋

幕末から明治の初めにかけて、油繩子の下宿に米問屋が数軒あり中問屋(なかつ)(なかんとんや)、米徳、米清などと呼ばれ、或いは屋号としていた。これに関連した旅館、菓子屋などがあった。

米問屋については多賀郡史に「明治維新廃藩の頃より油繩子村に米問屋あり、郡内過半の産米を集散し、従って商店軒を並べ郡内の商業地たりしことあり」とある。また、高萩市史に「油繩子村穀問屋市は文政六年、郡奉行梶清左衛門により農業支障の適正化のため、一ヶ月十日の定市に改正された。しかし、松岡領は遠郷のため、定市ばかりでは雨の日など難渋するという村々の請願により、中山氏家老、郡奉行が、梶奉行と交渉し、十月より十二月の三ヶ月は日市に変更した」とある。

米は県北地区だけでは無く、県南の方からも送られたという。明治三十年の鉄道の開通とともに物品の流通が変わり商品が変わっていった。

暮れ市

毎年十二月二七日の夕方、旧国道の油繩子十字字を中心にして暮市が開かれた。お飾り、みかんなど正月用品を購入したものである。戦争中の昭和十九年の暮れも開かれたが店舗は二・三軒しかなく寂しい思いをした記憶がある。当車の自動車はバスや医師の往診位のもので、夜走る車など無く狭い道でも問題がなかった。

酒醸造業

江戸時代は中宿に一軒で天明八年の記録に太郎兵衛 酒造米高一二石とあり釈迦堂(神田町)から川尻間で三番目の規模であった。

その他、下宿の海野氏によるひなづる、下原の嶋崎氏による惠泉などの酒造が行われた。



明治23年の茨城県管内図にみる日立地方

お知らせ

油繩子交流センター

協力員募集

当センターでは協力員を、左記の通り募集致します。

- 採用人数 若干名
- 仕事内容 施設の維持管理、事務、コミュニティ行事への協力。
- 勤務時間 十六時～二十一時迄。ローテーションによる勤務。(土、日、祝日勤務あり)
- 時給 一千円(現時点)

問い合わせ先

油繩子交流センター

事務長迄

☎38-7531



編集後記

寒さの中にも、暖かい日差しが感じられるようになりました。暖かな陽の光と共に、小さな虫や可愛らしい草花が芽吹き始め、春もすぐそこまです。ぽかぽか陽気の気持ちの良い日は、ステキな事がありそうです。ウキウキします♪

「梅の花が咲いていた。」
「桜の蕾を見つけた。」
「つくしが顔を出した。」
など、日常生活の中で「春」を見つけてみてはいかがでしょう。

今年度も残りわずかとなりました。皆様も健康に十分留意してお過ごしください。

(大森 法子)

